

## 1.5 実数の大小関係

実数には大小関係がある． 実数の大小関係を不等号を用いて表す．

例えば、実数  $x$  が 7 以下ということは、 $x$  は 7 より小さいかまたは  $x$  は 7 に等しいということである：

$$x \leq 7 \iff x < 7 \text{ または } x = 7 .$$

**法則 1.5.1** 実数  $a$  と  $b$  について

$$a \leq b \iff a < b \text{ または } a = b .$$

この法則により、実数  $a$  と  $b$  について、 $a < b$  と  $a = b$  とのどちらかでも成り立てば  $a \leq b$  である。例えば、 $2 < 3$  なので  $2 \leq 3$  ,  $5 = 5$  なので  $5 \leq 5$  .

**定理 1.5.1** 任意の実数  $a$  と  $b$  について、

$$a < b \text{ ならば } a \leq b , \quad a = b \text{ ならば } a \leq b .$$

例えば、実数  $x$  が 7 より小さくないということは、 $x$  は 7 以上ということである：

$$x \not< 7 \iff x \geq 7 .$$

**法則 1.5.2** 実数  $a$  と  $b$  について、

$$a \not< b \iff a \geq b .$$

$$a \not\leq b \iff a > b .$$

例えば、実数  $x$  は 7 より小さいかまたは 7 以上である :  $x < 7$  または  $x \geq 7$  .

**定理 1.5.2** 任意の実数  $a$  と  $b$  について,  $a < b$  または  $a \geq b$  .

証明  $a < b$  または  $a \not< b$  , 法則 1.5.2 により  $a \not< b$  ならば  $a \geq b$  , 従って  $a < b$  または  $a \geq b$  . (証明終了)

(法則 1.5.2) 任意の実数  $a, b$  について,  $a \not< b \iff a \geq b$  .

例えば、実数  $x$  が 7 より小さいならば  $x$  は 7 と等しくない:  $x < 7$  ならば  $x \neq 7$ .

**定理 1.5.3** 任意の実数  $a$  と  $b$  について,  $a < b$  ならば  $a \neq b$ .

証明 定理 1.5.1 により,  $a = b$  ならば  $a \geq b$ ; 法則 1.5.2 により,  $a \geq b$  ならば  $a \not< b$ . 従って,  $a = b$  ならば  $a \not< b$ . 対偶をとると,  $a < b$  ならば  $a \neq b$ . (証明終了)

(定理 1.5.1) 任意の実数  $a, b$  について,  $a = b$  ならば  $a \geq b$ .

(法則 1.5.2) 任意の実数  $a, b$  について,  $a \geq b \iff a \not< b$ .

例えば、実数  $x$  について、 $x \leq 7$  かつ  $x \geq 7$  ならば、 $x = 7$  .

**定理 1.5.4** 任意の実数  $a$  と  $b$  について、 $a \leq b$  かつ  $a \geq b$  ならば、  
 $a = b$  .

証明  $a \leq b$  かつ  $a \geq b$  と仮定する.  $a \leq b$  なので、法則 1.5.1 により  
 $a < b$  または  $a = b$  .  $a \geq b$  なので、法則 1.5.2 により  $a \not< b$  . このように、  
 $a < b$  または  $a = b$  で、 $a \not< b$  なので、 $a = b$  . (証明終了)

(法則 1.5.1) 任意の実数  $a, b$  について、 $a \leq b \iff a < b$  または  $a = b$  .

(法則 1.5.2) 任意の実数  $a, b$  について、 $a \geq b \iff a \not< b$  .

不等号が表す大小関係と加法・乗法とについて、次の法則が基本になる。

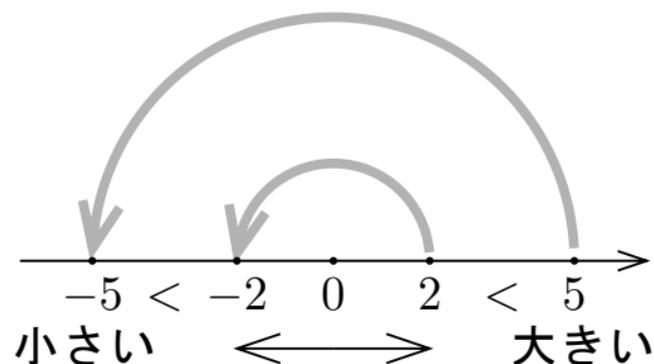
**法則 1.5.3** 任意の実数  $a, b, c$  について、

$$a < b \text{ ならば } a + c < b + c ,$$

$$a < b \text{ かつ } c > 0 \text{ ならば } ac < bc .$$

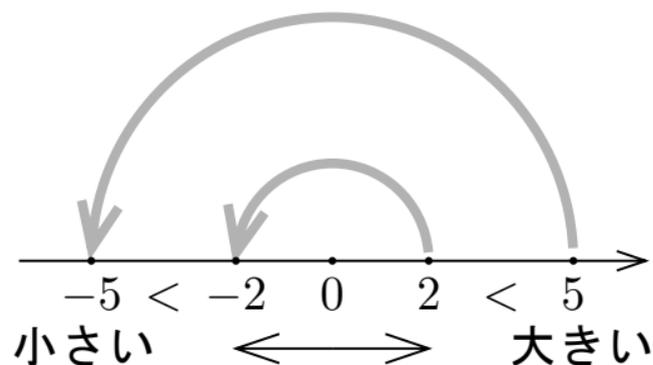
2 と 5 との大小を比べると

$2 < 5$  ,  $-2$  と  $-5$  との大小を比べると  $-2 > -5$  ; このように, 不等式の両辺の符号 (正か負かということ) が反対になると大小関係も反対になる.



2 と 5 との大小を比べると

$2 < 5$  ,  $-2$  と  $-5$  との大小を比べると  $-2 > -5$  ; このように, 不等式の両辺の符号 (正か負かということ) が反対になると大小関係も反対になる.



**定理 1.5.5** 任意の実数  $a, b$  について,

$$a < b \text{ ならば } -a > -b \text{ ,}$$

$$a \leq b \text{ ならば } -a \geq -b \text{ .}$$

定理 1.5.5 任意の実数  $a, b$  について,

$$a < b \text{ ならば } -a > -b \quad , \quad a \leq b \text{ ならば } -a \geq -b \quad .$$

証明 例として “ $a < b$  ならば  $-a > -b$ ” を証明する.

実数  $a, b$  について  $a < b$  と仮定する. 法則 1.5.3 により

$$a + (-a - b) < b + (-a - b) \quad ,$$

この不等式の左辺は  $a + (-a - b) = -b$  で右辺は  $b + (-a - b) = -a$  なので,

$$-b < -a \quad ,$$

つまり  $-a > -b$  .

(証明終了)

(法則 1.5.3) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a < b$  ならば  $a + c < b + c$  .

**定理 1.5.6** 任意の実数  $a, b, c$  について,

$$a < b \text{ かつ } c < 0 \text{ ならば } ac > bc .$$

**証明** 実数  $a, b, c$  について  $a < b$  かつ  $c < 0$  とする.  $c < 0$  なので, 定理 1.5.5 により  $-c > -0$  つまり  $-c > 0$ . 従って,  $a > b$  かつ  $-c > 0$  なので, 法則 1.5.3 により  $a \cdot (-c) < b \cdot (-c)$  つまり  $-ac < -bc$ . 定理 1.5.5 により  $-(-ac) > -(-bc)$  つまり  $ac > bc$ . (証明終了)

(定理 1.5.5) 任意の実数  $a, b$  について,  $a < b$  ならば  $-a > -b$ .

(法則 1.5.3) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a < b$  かつ  $c > 0$  ならば,  $ac < bc$ .

(定理 1.5.5) 任意の実数  $a, b$  について,  $a < b$  ならば  $-a > -b$ .

等号付きの不等号についても同様のことが成り立つ（証明は略す）。

**定理 1.5.7** 任意の実数  $a, b, c$  について,

$$a \leq b \text{ ならば } a + c \leq b + c \text{ ;}$$

$$a \leq b \text{ かつ } c \geq 0 \text{ ならば } ac \leq bc \text{ ;}$$

$$a \leq b \text{ かつ } c \leq 0 \text{ ならば } ac \geq bc \text{ .}$$

**定理 1.5.8** 任意の実数  $a$  と  $b$  について,

$$a > 0 \text{ かつ } b > 0 \text{ ならば } ab > 0 ,$$

$$a > 0 \text{ かつ } b < 0 \text{ ならば } ab < 0 ,$$

$$a < 0 \text{ かつ } b > 0 \text{ ならば } ab < 0 ,$$

$$a < 0 \text{ かつ } b < 0 \text{ ならば } ab > 0 .$$

**証明** 一部のみ証明する. 他の部分も同様に証明できる. 法則 1.5.3 により

$$0 < a \text{ かつ } b > 0 \text{ ならば } 0b < ab ,$$

つまり

$$a > 0 \text{ かつ } b > 0 \text{ ならば } ab > 0 .$$

定理 1.5.6 により

$$a < 0 \text{ かつ } b < 0 \text{ ならば } ab > 0b ,$$

つまり

$$a < 0 \text{ かつ } b < 0 \text{ ならば } ab > 0 . \quad (\text{証明終了})$$

(法則 1.5.3) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a < b$  かつ  $c > 0$  ならば,  $ac < bc$  .

(定理 1.5.6) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a < b$  かつ  $c < 0$  ならば,  $ac > bc$  .

等号付きの不等号についても同様のことが成り立つ（証明は略す）.

**定理 1.5.9** 任意の実数  $a$  と  $b$  について,

$$a \geq 0 \text{ かつ } b \geq 0 \text{ ならば } ab \geq 0 ,$$

$$a \geq 0 \text{ かつ } b \leq 0 \text{ ならば } ab \leq 0 ,$$

$$a \leq 0 \text{ かつ } b \geq 0 \text{ ならば } ab \leq 0 ,$$

$$a \leq 0 \text{ かつ } b \leq 0 \text{ ならば } ab \geq 0 .$$

**定理 1.5.10** 任意の実数  $a$  について  $a^2 \geq 0$  .

証明 定理 1.5.9 により,

$$a \geq 0 \text{ かつ } a \geq 0 \text{ ならば } aa \geq 0 .$$

つまり,  $a \geq 0$  ならば  $a^2 \geq 0$  . また, 定理 1.5.8 により,

$$a < 0 \text{ かつ } a < 0 \text{ ならば } aa > 0 .$$

つまり,  $a < 0$  ならば  $a^2 > 0$  . 定理 1.5.1 により  $a^2 > 0$  ならば  $a^2 \geq 0$  なので,  $a < 0$  ならば  $a^2 \geq 0$  .

こうして次のことが成り立つ:  $a \geq 0$  ならば  $a^2 \geq 0$  ,  $a < 0$  ならば  $a^2 \geq 0$  . 定理 1.5.2 により  $a \geq 0$  または  $a < 0$  ;  $a \geq 0$  のときも  $a < 0$  のときも  $a^2 \geq 0$  なので, いずれにせよ  $a^2 \geq 0$  . (証明終了)

(定理 1.5.9) 任意の実数  $a, b$  について,  $a \geq 0$  かつ  $b \geq 0$  ならば,  $ab \geq 0$  .

(定理 1.5.8) 任意の実数  $a, b$  について,  $a < 0$  かつ  $b < 0$  ならば,  $ab > 0$  .

(定理 1.5.1) 任意の実数  $a, b$  について,  $a > b$  ならば  $a \geq b$  .

(定理 1.5.2) 任意の実数  $a, b$  について,  $a \geq b$  または  $a < b$  .

述語  $A$  と  $B$  について, “  $A \iff B$  ” のとき “  $A$  でない  $\iff$   $B$  でない ” .

**定理 1.5.11** 任意の実数  $a$  について,

$$a^2 \leq 0 \iff a^2 = 0 \iff a = 0 ,$$

$$a^2 > 0 \iff a^2 \neq 0 \iff a \neq 0 .$$

**定理 1.5.11** 任意の実数  $a$  について,

$$a^2 \leq 0 \iff a^2 = 0 \iff a = 0 ,$$

$$a^2 > 0 \iff a^2 \neq 0 \iff a \neq 0 .$$

**証明** 定理 1.5.10 により  $a^2 \geq 0$  なので,  $a^2 \leq 0$  ならば, 定理 1.5.4 により  $a^2 = 0$ , 定理 1.1.2 により  $a = 0$ . 逆に,  $a = 0$  ならば,  $a^2 = 0$  なので, 定理 1.5.1 により  $a^2 \leq 0$ . 故に

$$a^2 \leq 0 \iff a^2 = 0 \iff a = 0 .$$

(定理 1.5.10) 任意の実数  $a$  について  $a^2 \geq 0$ .

(定理 1.5.4) 任意の実数  $a, b$  について,  $a \leq b$  かつ  $a \geq b$  ならば,  $a = b$ .

(定理 1.1.2) 任意の数  $a$  について,  $a^2 = 0 \iff a = 0$ .

(定理 1.5.1) 任意の実数  $a, b$  について,  $a = b$  ならば  $a \leq b$ .

**定理 1.5.11** 任意の実数  $a$  について,

$$a^2 \leq 0 \iff a^2 = 0 \iff a = 0 ,$$

$$a^2 > 0 \iff a^2 \neq 0 \iff a \neq 0 .$$

**証明** 定理 1.5.10 により  $a^2 \geq 0$  なので,  $a^2 \leq 0$  ならば, 定理 1.5.4 により  $a^2 = 0$ , 定理 1.1.2 により  $a = 0$ . 逆に,  $a = 0$  ならば,  $a^2 = 0$  なので, 定理 1.5.1 により  $a^2 \leq 0$ . 故に

$$a^2 \leq 0 \iff a^2 = 0 \iff a = 0 .$$

これより更に

$$a^2 \not\leq 0 \iff a \neq 0 .$$

法則 1.5.2 により,

$$a^2 > 0 \iff a^2 \not\leq 0 \iff a \neq 0 . \quad (\text{証明終了})$$

**(法則 1.5.2)** 任意の実数  $a, b$  について,  $a > b \iff a \not\leq b$ .

**定理 1.5.12** 実数  $a, b$  について,

$$a^2 + b^2 \leq 0 \iff a^2 + b^2 = 0 \iff a = 0 \text{ かつ } b = 0 .$$

**証明** 定理 1.5.10 により  $b^2 \geq 0$  , 定理 1.5.5 により  $-b^2 \leq 0$  .  $a^2 + b^2 \leq 0$  ならば,  $a^2 \leq -b^2 \leq 0$  , 定理 1.5.11 により  $a = 0$  . 同様に,  $a^2 \geq 0$  より  $-a^2 \leq 0$  なので,  $a^2 + b^2 \leq 0$  ならば,  $b^2 \leq -a^2 \leq 0$  , 定理 1.5.11 により  $b = 0$  . 逆に,  $a = 0$  かつ  $b = 0$  ならば,  $a^2 + b^2 = 0$  なので, 定理 1.5.1 により  $a^2 + b^2 \leq 0$  . (証明終了)

(定理 1.5.10) 任意の実数  $a$  について  $a^2 \geq 0$  .

(定理 1.5.5) 任意の実数  $a, b$  について,  $a \geq b$  ならば  $-a \leq -b$  .

(定理 1.5.11) 任意の実数  $a$  について,  $a^2 \leq 0 \iff a = 0$  .

(定理 1.5.1) 任意の実数  $a, b$  について,  $a = b$  ならば  $a \leq b$  .

**定理 1.5.13** 任意の実数  $a$  について,

$$a > 0 \text{ ならば } \frac{1}{a} > 0, \quad a < 0 \text{ ならば } \frac{1}{a} < 0.$$

証明 “ $a > 0$  ならば  $\frac{1}{a} > 0$ ” を証明する.

実数  $a$  について  $a > 0$  と仮定する. 定理 1.5.3 より  $a \neq 0$ . 定理 1.5.1 より  $a \geq 0$ . 仮に  $\frac{1}{a} \leq 0$  とすると, 定理 1.5.9 により  $a \cdot \frac{1}{a} \leq 0$  つまり  $1 \leq 0$  ;

これは矛盾である. よって  $\frac{1}{a} \not\leq 0$ , 法則 1.5.2 により  $\frac{1}{a} > 0$ . (証明終了)

(定理 1.5.3) 任意の実数  $a, b$  について,  $a > b$  ならば  $a \neq b$ .

(定理 1.5.1) 任意の実数  $a, b$  について,  $a > b$  ならば  $a \geq b$ .

(定理 1.5.9) 任意の実数  $a, b$  について,  $a \geq 0$  かつ  $b \leq 0$  ならば,  $ab \leq 0$ .

(法則 1.5.2) 任意の実数  $a, b$  について,  $a \not\leq b \iff a > b$ .